

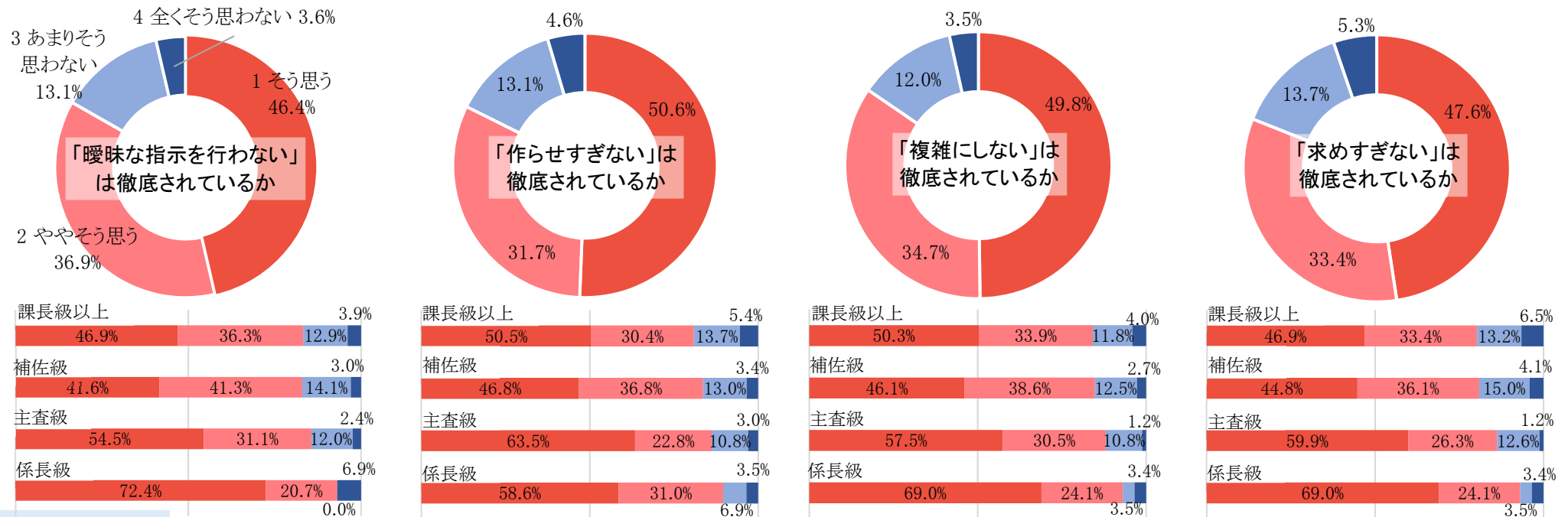
「資料作成4ない運動」に関するアンケートの結果について

1 アンケートの概要

- ・ 目的：「資料作成4ない運動」の実施状況を見える化することで、職員に対し意識啓発を行うとともに取組みの定着を図る
- ・ 実施時期：令和6年9月26日～10月9日
- ・ 対象者：知事部局の全職員（会計年度任用職員含む）
- ・ 回答人数：1,500人

2 アンケートの結果

- ・ 自分に対して資料作成の指示を出す主な上司について、「資料作成4ない運動」の達成度を調査。
- ・ 4つの指標すべてにおいて、「1 そう思う」と「2 ややそう思う」という回答が約8割以上を占め、取組みは一定程度浸透している。
- ・ 職位別の評価では、上位の職位ほど高評価の割合が少ない傾向にあるため、管理職を中心に改めて意識づけが必要。



<主な意見>

- 明文化されたことによって意識的に取組まれ、無駄な資料作成が減った。
- 指示をする際、過度なサポートにより若手職員の成長機会を奪うことがないよう気を付けている。
- 上司と部下の双方が積極的にコミュニケーションをとり、資料作成の背景や指示の意図など、共通の認識を持つことが重要。
- △ 指示を出す側に浸透していない。管理職全員がもっとこの運動の趣旨を理解し、徹底してほしい。
- △ 内部資料など重要度の低い資料でもフォントや文章表現の修正を細かく指示される。
- △ 議会資料などの慣例的に作成している資料については、適宜必要性の見直しを行うべき。